

緒 言

福井縣統計書ハ縣下行政其ノ他各般ノ統計ヲ蒐集シ既往現在ノ狀勢ヲ大觀セムガ爲毎年之ヲ刊行シ今ヤ昭和九年ノ統計書ヲ編纂スルニ至レリ本書編ヲ分ツニ其ノ一ヲ「土地戶口等」其ノ二ヲ「學事」其ノ三ヲ「産業」其ノ四ヲ「警察衛生等」ト爲ス

各編收録スル資料ハ主トシテ市町村及學校ノ報告竝廳内ノ調査ニ依リ或ハ關係官公署會社等ノ供給ニ求メタルモノアリ蓋シ世運ノ推移學術ノ進展ニ基キ統計ノ用益多キヲ加フ是ヲ以テ調査ノ正確ヲ期スルト共ニ表章方法ヲ更メ或ハ新ニ收録シタルモノ尠シトセズ然リト雖尙遺憾ナキヲ保セザルニ依リ漸次之ガ改善ニ努メ時世ノ要求ニ應ゼシムル所アラムトス

昭和十一年三月

福 井 縣 總 務 部



昭和九年 福井縣統計書目次

第三編 產 業

總 說	頁 1
第一 生産物總價額	
1 生産總價額	7
第二 農 業	
2 耕地面積	7
3 耕地整理ノ一	8
4 耕地整理ノ二	9
5 農産物總價額	10
6 米	10
7 米收穫高前年及五箇年比較	12
8 移出米檢查	12
9 麥	13
10 食用農産物	14
11 園藝農産物ノ一(果實)	16
12 園藝農産物ノ二(蔬菜及花卉)	18
13 工藝農産物	20
14 綠肥用作物	22
15 果 樹 苗	24
16 茶 畑	25
17 桑 畑	25
18 桑 苗	27
19 農産物雜額	26
20 繭	30
21 春 蠶	30
22 夏 秋 蠶	32
23 農作物被害	32
第三 畜 産	
24 畜産物總價額	36
25 牛	36
26 牛 乳	38
27 馬	38
28 豚	42
29 緬 羊	42
30 山 羊	42
31 鷄	44
32 鶩	44
33 蜜 蜂	44
34 屠 殺	45

第四 林 業	
35 林産物總價額	46
36 民有林野面積	46
37 國有林植栽	48
38 國有林伐採	48
39 國有林野被害	48
40 保 安 林	49
41 公私有造林用苗木	50
42 公私有林野人工造林(新植)	50
43 公私有林野人工造林(補植)	54
44 竹 林 植 栽	55
45 公私有林野天然造林	56
46 公私有林伐採面積	58
47 公私有林栽採材積	58
48 林 野 産 物	62
49 木 炭	64
50 林 野 放 牧	64
51 公私有林野被害	65
第五 水 産	
52 水産物總價額	65
53 水 産 業 者	66
54 漁 船	68
55 遭 難 漁 船	70
56 沿 岸 漁 獲 物	70
57 遠 洋 漁 業	74
58 水 産 養 殖	74
59 水 産 製 造 物	76
第六 鑛 業	
60 鑛産物總價額	80
61 鑛區及坪數	80
62 石材土石及鑛水	82
第七 工 業	
63 工産物總價額	83
64 工場數及職工數	83
65 織 物	84
66 綿 織 物	90
97 絹織物及絹綿交織物	93

	頁
68 麻織物及麻交織物	98
69 毛織物及毛交織物	100
70 メリヤス製品	101
71 晒及染物	102
72 帽 子	104
73 陶 磁 器	104
74 瓦 及 土 管	105
75 漆 器	105
76 製 革	105
77 皮 革 製 品	106
78 植 物 油	106
79 澱 粉	106
80 木 製 品	107
81 竹 製 品	107
82 藤 製 品	108
83 杞 柳 製 品	108
84 刷 子 及 刷 毛	108
85 燈 表 莖 蔴 及 花 蔴	109
86 製 茶	109
87 蠶 絲 類 ノ 一 (總 數)	110
88 蠶 絲 類 ノ 二 (機 械 絲)	112
89 蠶 絲 類 ノ 三 (座 繰 絲)	114
90 蠶 絲 類 ノ 四 (玉 絲)	116
91 真 綿	116
92 蠶 網	117
93 菓 製 品	118
94 乳 肉 製 品 及 罐 詰	119
95 釀 造 物	120
96 飲 食 物 雜 類	122
97 織 物 用 具	124
98 窯 業 製 品	128
99 紙 類	128

	頁
100 工 產 物 雜 類	132
101 製 造 肥 料	136
第 八 商 業 會 社 銀 行 等	
102 敦 賀 港 外 國 貿 易 種 類 別	138
103 敦 賀 港 外 國 貿 易 國 別	138
104 港 灣 移 出 入 貨 物	140
105 商 品 陳 列 所 (委 託 販 賣 品 ノ 部)	141
106 商 品 陳 列 所 (參 考 品 ノ 部)	141
107 會 社 總 數	142
108 會 社 資 本 金 別	142
109 會 社 業 態 別	143
110 勸 業 銀 行 預 金	145
111 勸 業 銀 行 預 金 預 ケ 主 別	146
112 勸 業 銀 行 貸 付 金	146
113 勸 業 銀 行 貸 付 金 年 限 別	146
114 勸 業 銀 行 貸 付 金 借 主 別	147
115 無 盡 業 者 及 資 本 金	147
116 無 盡 口 數 及 給 付 契 約 高	148
117 無 盡 契 約 高 給 付 金 額 別	148
118 無 盡 契 約 高 職 業 別	148
119 無 盡 契 約 高 期 間 別	150
120 無 盡 口 數 及 給 付 契 約 高 (郡 市 別)	150
121 普 通 銀 行 資 本 金 積 立 金 入 金 出 金 純 益 金 配 當 金	150
122 普 通 銀 行 貸 付 金	151
123 普 通 銀 行 諸 貸 付 金 擔 保 別 調	152
124 普 通 銀 行 預 金	152
125 普 通 銀 行 內 國 爲 替	154
126 貯 蓄 銀 行	154
127 貯 蓄 銀 行 預 金	155
128 產 業 組 合	154
129 郵 便 貯 金	156

總 說

農 業

耕地面積 昭和九年末ニ於ケル耕地總面積ハ六萬二千二百二十九町九段歩、内田面積ハ五萬六千一百一十町歩、畑面積ハ一萬一千五百二十八町九段歩ニシテ田八割一分四厘畑一割八分六厘ノ割合ナリ。而シテ之ヲ前年ニ比スレバ田面積十三町一段歩、畑面積十五町七段歩ヲ何レモ減少シタルヲ以テ總數ニ於テ二十八町八段歩ヲ減少セリ。

本年內ニ於ケル移動ノ狀況ヲ觀ルニ擴張ニ在リテハ百九十七町一段歩、内田百二町八段歩、畑九十四町三段歩ニシテ、宅地ヲ耕地ト爲セルモノ八十町六段歩、山林等ヲ開墾セルモノ七十六町五段歩ヲ其ノ主ナルモノトス。又廢廢ニ在リテハ二百二十七町九段歩、内田百四十一町七段歩、畑八十六町二段歩ニシテ、地類及地目變換ニ因ルモノ九十八町六段歩道路鐵道等ノ敷地ト爲レルモノ六十三町六段歩、宅地並工場及建物ノ敷地ト爲レルモノ四十町五段歩ヲ其ノ主ナルモノトス。尙以上ノ外ニ實測ノ結果ニ依リ増加シタルモノ田八段歩、畑一町二段歩アリタリ。

米 昭和九年ニ於ケル米作付段別ハ四萬八千五百五十八町二段歩ニシテ、收穫高九十一萬六千九百四十二石、價額二千四百七十七萬八千二百二十五圓ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ作付反別ニ於テ二百九十三町七段歩（一厘七毛）ヲ減少シタリ。之レ主トシテ工場、道路、河川ノ敷地及蔬菜ノ栽培増植等ニ充用セラレタルニ由ル。而シテ收穫高ハ二十二萬三千七百七十石（五分一厘六毛）ノ減收ヲ見タリ、之前年ハ近年稀レナル豊稔ノ年ナリシニ反シ本年ハ下記ノ如ク大暴風雨ノ襲來ニ次テ稻熱病ノ發生ヲ見又蟲害モ相當ニアリシ爲ナリ。尙價額ニ於テ百九十四萬七千餘圓ノ増額トナレルハ米價ノ高騰ニ因ルモノナリ。

次ニ本年ノ稻作ノ概況ヲ記述スレバ、本年ハ降雪量多ク融雪時期遲延ノ爲、苗代播種モ隨ツテ延レ苗ノ發育不良ナリキ。又土用前後ニ於ケル稻ノ生育中最モ重要ナル時期ニ日照時少ク、氣温亦低カリシ爲稻ハ軟弱徒長トナリタリ。

爾後ノ天候亦適順ヲ缺キ殊ニ九月二十一日ニハ稀有ノ大暴風雨襲來シ、以後ノ天候不順勝ナリシ爲中晩稻ノ登熟ヲ妨ゲ、又縣內全般ニ亘リ稻熱病發生シ、一部ニハ二化螟蟲、浮塵子、穗首、稻麴病等ノ發生ヲ見被害アリタルニ依リ前記ノ如ク減收シタリ。尙前五箇年平均ノ收穫高ハ九十九萬五千九百五十九石トナリ之ニ比スレバ七分九厘ノ減收ナリ。而シテ本年九月二十日現在ニ於ケル米作農家戸數ハ六萬一千六百三十九戸ニシテ、一戸平均作付段別七町九段歩、收穫高十四石八斗八升ニ當ル。

麥 昭和九年ニ於ケル麥作付段別ハ三千二百二十六町六段歩ニシテ收穫高二萬六千四百三十七石ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ作付段別ニ於テ、百四十町歩（四分三厘四毛）ヲ減少シタルモ、小麥ニ増殖獎勵ノ結果逐年増加シ、前年ハ八百二十七町五段歩ナリシガ、本年ハ千六百町五段歩ノ作付ヲ見ルニ至レリ、

然リト雖モ大麥、稗麥ハ之ニ反シ逐年減少ノ傾向ニ在リ。又收穫高ニ於テハ一萬三千六百六十二石（四分九厘八毛）ノ減收ヲ來タセリ。蓋シ本年ノ麥作ハ昨秋播種當時ニ於ケル天候ハ比較的良好ナリシモ、秋雪ハ近年ニ比シ早ク而已ナラズ其ノ降雪ハ根雪ト爲リ、又降雪量ハ數十年ニナキ稀有ノ大雪ナリシテ以テ、雪下期間殊ニ長ク爲ニ發育ヲ阻害シ分蘖伸長ヲ妨ゲラレ、且莖ヲモ腐朽セルモノ尠カラズシテ、殆ンド收穫皆無トナリタル所モ相當アリタリ。

食用農産物 昭和九年ニ於ケル食用農産物ハ作付段別六千三百六十二町歩、産額九十二萬三千二百八十五圓ニシテ、前年ニ比シ作付段別ニ於テ十一町二段歩ヲ、産額ニ於テ五萬五千二百二十三圓ノ孰レモ減少ヲ見タリ。而シテ産額ノ減少セルハ七月中旬及九月下旬ニ於ケル風水害ニ因リ、製作物ノ被害多カリシ爲隨ツテ收穫量ヲ減セルニ因ル。

産額五萬圓程度以上ノモノニ付其ノ作付段別、收穫高及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	作付反別	收穫高 石	價 額 圓
大 豆	23,465	22,447	318,047
馬 鈴 薯	8,686	2,001,639	232,451
甘 藷	9,822	2,172,829	183,546
小 豆	7,652	5,067	94,951
蕎 麥	8,268	4,495	49,081

果實 昭和九年ニ於ケル果實ハ總價額四十七萬九千八百一圓ニシテ、前年ニ比シ一萬一千三百七十一圓ヲ増加セリ。之梅五千六百一十四、桃二萬六千二圓、生柿一萬一千二百三十四圓等ノ増額ヲ見タルモノアルモ、干柿ニ於テ三萬八千四百八十圓ヲ減額セシメ主因トス。而シテ桃及葡萄ノ栽培ハ逐年旺盛ナルモ、干柿ノ製作ハ之ニ反シ衰微ノ傾向ニ在リ。

産額一萬圓以上ノモノニ付其ノ樹數、收穫高及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	樹 數	收穫高 石	價 額 圓
生 柿	236,970	1,081,045	183,077
桃	136,136	360,444	86,940
梅	50,256	3,033	85,578
干 柿	—	32,102	25,273
葡 萄	23,573	53,294	23,704
日 本 梨	34,563	143,645	39,791
蜜 柑	33,707	70,085	18,215

蔬菜及花卉 昭和九年ニ於ケル蔬菜及花卉ノ總作付段別ハ三千四百三町一段歩、總價額百六十三萬九千三百三十九圓ニシテ、前年ニ比シ作付段別八十八町四段歩、價額二十一萬四千四百三十二圓ヲ何レモ増加セリ。而シテ豌豆及蠶豆ハ雪害ノ爲收穫ノ減少甚ダシク何レモ前年ノ約半數ニシテ胡瓜、西瓜、甜瓜、とまと、花百合、里芋、玉葱ヲ除キ他ハ減收セルモ、價格高値ノ爲總價額ニ於テハ反ツテ増加ヲ見タリ。價額五萬圓以上ニ達セルモノニ付其ノ作付段別、收穫高及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

生 大 根	10,006	6,231,075	440,775
里 芋	5,182	2,088,649	339,657
茄 子	2,925	1,446,516	184,572
西 瓜	2,048	903,524	146,847
牛 蒡	1,020	295,821	69,837
胡 瓜	1,570	585,662	83,376
葱	1,183	346,424	63,375

工藝農産物 昭和九年ニ於ケル工藝農産物ノ總作付段別千六百六十七町三段歩、總價額二十八萬八千七百七十八圓ニシテ、前年ニ比シ作付段別ニ於テ八十町六段歩ノ増加ヲ見タルモ、價額ニ於テハ二萬八千五百十四圓ノ減額ト爲レリ。

畜 産

牛 昭和九年末ニ於ケル牛ノ飼養戸數ハ三千八百五十三戸、其ノ飼養頭數ハ四千七百七十六頭内北四千九百九頭（八割六分）牝六百六十七頭（一割四分）ニシテ、前年ニ比シ戸數九十五戸、頭數百三十一頭ヲ増加セリ。而シテ飼養者ハ一頭飼養ノモノ（九割五分）餘ヲ占メ二頭以上飼養ノモノハ百八十二戸ナルモ、前年ニ比シ三頭又ハ四頭飼養ノモノ四戸ヲ減シ二頭或ハ五頭以上飼養ノモノ十三戸ヲ増加セリ。又年末現在頭數ヲ年齡別ニ觀レバ滿二年以上ノモノ三千八百八十二頭（八割一分五厘）滿一年以上滿二年未滿ノモノ六百九頭（一割二分八厘）滿一年未滿ノモノ二百八十五頭（六分）ナリ。

尙本年內ニ於ケル生産頭數ハ三百六十頭、内牝二百四十二頭牝百十八頭ニシテ前年ヨリ五十三頭増加シ、斃死セルモノハ二十頭内北百二頭牝十八頭ニシテ前年ヨリ七十八頭ノ増加ヲ見タリ。乳牛ハ前記頭數中ニ包含セラルルモ、其ノ年末現在ニ於ケル頭數ハ六百六十二頭ニシテ、前年ニ比シ二十五頭ヲ増加セリ。之ガ搾乳場數ハ百二十ヲ算シ年内ノ搾乳高ハ七千七百二十一石ニ達シ、前年ヨリ千八十五石ヲ増加セリ。

馬 昭和九年末ニ於ケル馬ノ飼養戸數ハ五千三百五十九戸、其ノ飼養頭數ハ五千八百七十三頭内北二千九百七十一頭、牝二千九百二頭ニシテ、前年ニ比シ戸數二百三十七戸、頭數百九頭ノ何レモ減少ヲ見タリ。而シテ飼養者ハ一頭飼養ノモノ（九割六分）ヲ占メ、二頭以上飼養ノモノハ二百十六戸ニシテ前年ヨリ四十戸ヲ増加セルモ、一頭飼養ノモノ二百七十七戸減少セル爲前記ノ如ク總戸數ニ於テ減少ヲ來タセルナリ。又年末現在頭數ヲ種類別ニ觀レバ、私種四頭、洋種九頭ヲ除キ全部雜種ニシテ、更ニ之ヲ年齡別ニ觀レバ明四歳以上ノモノ五千二百四十六頭（八割九分三厘）明三歳以下ノモノ六百二十七頭（一割七厘）ノ割合ナリ。

本年內ニ於ケル生産頭數ハ二十八頭ニシテ前年ヨリ八頭ヲ減シ、斃死セルモノハ七十七頭ニシテ前年ヨリ十六頭ヲ増加セリ。

豚 昭和九年末ニ於ケル豚ノ飼養戸數ハ二百六十戸、其ノ飼養頭數千九百九十二頭内北六百四十二頭牝四百五十頭ニシテ、前年ニ比シ戸數六十五戸、頭數百九十五頭ノ何レモ増加ヲ見タリ。而シテ飼養者ハ二頭飼養ノモノ最モ多ク、前年ヨリ四十九戸ヲ増シテ百五戸ト爲リ（四割四厘）ヲ占メ、一頭飼養ノモノ九十戸（三割四分六厘）三頭以上飼養ノモノ六十五戸（二割五分）

ナリ。又本年內ニ於ケル生産頭數ハ七百十三頭ニシテ、斃死セルモノハ百二十二頭ナリ。

鶏 昭和九年六月末日現在ニ於ケル鶏ノ飼養戸數ハ六千三百九十五戸、其ノ飼養羽數ハ二十九萬五千五百八十二羽内成鶏十八萬一千九百九十七羽、雞十一萬三千五百八十五羽ニシテ、前年ニ比シ戸數百二十二戸ヲ減少セルモ飼養羽數ハ成鶏九千二百八十四羽、雞一萬五千八十二羽ノ増加ヲ見タリ。而シテ十羽未滿ノ飼養者ハ年々減少スルモ之ニ反シ十羽以上ノ飼養者ハ逐年増加ノ傾向ナリ。

林 業

民有林野面積 本調査ハ毎三年ノ定期調査ニシテ昭和八年末現在ニ於ケル民有林野面積ハ十八萬四千四百九十町五段歩、内立木地十七萬四千四百四十町歩、無立木地一萬三千五百五十町五段歩ニシテ、之ヲ前年度調査ノ昭和五年末ニ比スレバ六千五百九十七町二段歩ヲ増加シ、本縣總面積ノ約四割強ヲ占ム。

之ヲ所有者別ニ觀レバ私有地最モ多ク十五萬四千五百五十二町七段歩（八割三分五厘）ヲ占メ、町村有一萬九千四百四十二町一段歩之ニ亞キ、部落有四千四百六十六町歩ヲ主ナルモノトシ縣有、寺院有ハ何レモ二千乃至二千五百町歩ナリ。

尙立木地ヲ樹林別ニ觀レバ潤葉樹林最モ多ク八萬三千二百餘町歩ニシテ立木地ノ四割八分六厘ヲ占メ、針潤混淆樹林四萬八千餘町歩、針葉樹林三萬八千五百餘町歩ノ割合ナリ。

森林植栽 昭和九年ニ於ケル民有林ノ新植ノ總面積一千八百八十二町三段歩、樹數二百八十五萬八千三百本、内針葉樹ノ面積一千四百九町一段歩、樹數二百五十四萬七千七百本、潤葉樹ノ面積百三十三町二段歩、樹數三十萬三千七百三十本ニシテ、前年ニ比シ總數ニ於テ面積二十二町歩ヲ増加シタルモ樹數十三萬八千六百四十本ノ減少ヲ見タリ。

主ナル樹種ニ付其ノ面積及樹數ヲ示セバ次ノ如シ。

	面積 段歩	樹 數 本
ス キ	9,105	2,161,570
ク ヌ ギ	897	191,920
ヒ ノ キ	833	191,406
マ ツ	518	187,170
ケ ヤ キ	148	32,270
ク リ	134	16,710

尙昭和九年ニ於ケル補植ハ四十萬四千六百六十本ニシテ前年ニ比シ一萬三千六百九十本ヲ増加セリ。而シテ其ノ主ナルモノハササギニシテ三十二萬六千七百七十五本、之ニ亞グハひのき三萬一千四百六十五本、まつ二萬八千三十本、くぬぎ一萬一千三百六十本等ナリ。

森林伐採 昭和九年中ニ於ケル伐採面積ハ二千九百九十三町四段、内用材六百五町七段歩、薪炭材二千三百町歩、竹材八十七町七段歩ニシテ前年ニ比シ六百九十七町三段歩ヲ増加セリ而シテ之ガ材積ハ用材二十六萬九千四百五十四石（價額九十九萬二千三百六十九圓）薪炭材二十八萬九千七百六十八石（價額七十七萬二千七百六十五圓）竹材五萬六束（價額四萬二千四十四圓）ニシテ前年ニ比シ何レモ増加セリ。

用材ノ主ナル樹種ニ付其ノ材積及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	材 積 ^石	價 額 ^円
ス ギ	151,137	543,990
マ ツ	79,386	248,677
キ リ	6,899	80,610
ケ ヤ キ	5,845	59,947
ク リ	7,895	26,657
ヒ ノ キ	3,515	15,071

林野産物 昭和九年ニ於ケル林野産物總價額（木炭ヲ除ク）ハ二十九萬二千二百三十四圓、内造林用種子八百二十圓、樹實十五萬七千五百七十九圓、樹皮二萬四千五百一十一圓、其ノ他十壹九千三百二圓ニシテ、前年ニ比シ一萬六千二百九十四圓ヲ減少セリ。而シテ本縣ノ特産物タル樹實中ノあぶらぎりハ收穫高一萬八百四石、價額十一萬七千八百七十四圓ヲ産シ全國第一位ニシテ、前年ニ比シ收穫ハ八百六十七石ヲ増加セルモ價額ハ價格低下ノ爲九千五百五十六圓ヲ減少セリ。

此ノ外主ナルモノニ付其ノ數量及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	數 量 ^石	價 額 ^円
ク リ (實)	2,111	39,751
ス ギ (皮)	88,760	24,372
柴 草 (生)	2,437,149	37,578
松 茸 (生)	92,860	34,400
筍	141,124	24,621

木炭 昭和九年末ニ於ケル木炭製造戸數ハ五千二百七十五戸、其ノ竈數五千四百七竈ニシテ前年ニ比シ四百七十九戸、五百九竈ヲ増加セリ。而シテ年内ニ於ケル生産高ハ一千二十五萬九千八百六十八貫價額百八十八萬三千六百五十圓ニ達シ、前年ニ比シ數量百六十二萬八千九百八十七貫、價額四十三萬三千九百六十圓ヲ何レモ増加シ、昭和三年以後ニ於ケル増産ナリ。

水 産 業

水産業者 昭和九年末ニ於ケル水産業者總數ハ一萬四千八百八十七人、内業主六千七百二十五人、被用者七千四百六十二人ニシテ、前年ニ比シ業主三百五十五人、被用者百二十六人ヲ何レモ減少セリ。

業態別ニ業主及被用者ヲ觀レバ次ノ如シ。

	業 主	被用者
漁 撈	6,078	5,956
養 殖	83	18
製 造	564	1,488

而シテ之ガ本業者ハ九千六十五人、内業主三千三百十六人、被用者五千七百四十九人ニシテ副業者ハ五千二百二十二人、内業主三千四百九人、被用者一千七百十三人ナリ。

之ヲ業態別ニ觀レバ次ノ如シ。

	業 主	被用者	
本業	漁 撈	2,935	4,756
	養 殖	10	5
	製 造	371	988
副業	漁 撈	3,143	1,200
	養 殖	73	13
	製 造	193	500

漁船 昭和九年末ニ於ケル漁船總數ハ三千六百三十四隻、内無動力船三千四百五十五隻、有動力船四百八十九隻ニシテ前年ニ比シ總數ニ於テ僅カニ十一隻ノ増加ヲ見タルモ、此ハ無動力船三十四隻ヲ増加シ、有動力船二十三隻ヲ減少シタルニ因ル。而シテ年内ニ於ケル新造ノ無動力船百八十隻、有動力船五十八隻ニシテ、前年ニ比シ無動力船十九隻ヲ減シタルモ有動力船ハ三十四隻ヲ増加セリ。又年内ニ於テ鯉波等ノ爲廢用セルモノハ無動力船百七十九隻、有動力船四十二隻ニシテ前年ニ比シ無動力船十五隻、有動力船十三隻ノ減少ヲ見タリ。尙年未現在船數ヲ噸數別ニ示セバ次ノ如シ。

	無動力	有動力
五噸未満	3,131	291
五噸以上十噸未満	14	137
十噸以上二十噸未満	—	55
二十噸以上	—	6

尙年内ニ於ケル遺難漁船ハ無動力船十九隻、有動力船二十八隻ニシテ、其ノ遺難ノ種類ハ沈没二隻、破壊四十五隻ナリ、而シテ之ガ損害高ハ漁船五千四十圓、漁具二千八十圓、其ノ他五十圓ノ見積價額ナリ、又乗組員中死亡シタル者十三人、負傷者一人アリタリ。

沿岸漁獲物 昭和九年ニ於ケル沿岸漁獲物總價額ハ二百萬七千六百一圓ニシテ、前年ニ比シ三十五萬四千八百五圓ノ増加ヲ見タルハ概シテ豊漁ナリシニ依ルモノ、如シ。

種類別ニ數量及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	數 量 ^貫	價 額 ^円
魚 類	5,123,156	1,620,458
貝 類	76,988	36,350
其他水産動物	697,485	323,235
藻 類	105,863	27,558

漁獲物ノ主ナルモノハいわしノ百九十八萬三千四百十貫ヲ首位トシ、まば八十六萬二千二百四十三貫、まぐろ五十八萬九千三十三貫、ぶり四十七萬三千六百三十一貫之ニ亞ギ、其ノ他十萬貫以上ノモノニハいか二十六萬七千餘貫、あぢ十萬七千餘貫、たらばかに十二萬七千餘貫等アリ。之等ハ何レモ其ノ價額十以上ニ達シ居ルモ、此ノ外たひハ漁獲高七萬七千餘貫價額ハ十七萬四千餘圓、又あゆハ二萬餘貫ニシテ九萬八千餘圓ノ漁獲アリタリ。

遠洋漁業 昭和九年末現在ニ於ケル年内遠洋漁業ニ従事セル漁船ハ四十二隻（發動機漁船）此ノ總噸數六百四十八噸、乗組員四百二十七人ニシテ、前年ニ比シ隻數十隻、噸數二百十九噸、乗組員一人ヲ減少シ逐年衰微ノ傾向ヲ辿リ、最近十箇年間に於テ船數約百隻ヲ減シ噸數亦約三分ノ一ト爲レリ。而シテ之ガ漁獲高ハ數量百八萬九千七百二十貫、價額二十七萬一千七百七圓ニシテ前年ニ比シ數量五十二萬八千九百三貫ノ激増ヲ示シタルモ、價額ハ反ツテ一萬一千三百圓ノ減少ヲ見タリ。漁獲ノ主ナルモノハいわし六十六萬貫、まば十四萬五百貫、たら七萬九千六百六十貫、かれひ・ひらめ五萬七千五百貫ナリ。尙漁撈方法別ニ漁船數及漁獲高ヲ示セバ次ノ如シ。

	船數 ^隻	數 量 ^貫	價 額 ^円
旋網漁業	10	792,530	75,674
沖曳網漁業	27	264,190	176,883
刺網漁業	5	33,000	19,150

工 業

機業場數 昭和九年末ニ於ケル機業場總數ハ二千四百三十二、内綿織物七十五(三分)絹及絹綿交織物二千三百六(九割五分)麻及麻交織物五十一(二分)ニシテ、前年ニ比シ綿織物ニ於テ六ヲ減シタルモ、絹及絹綿交織物五百二十二、麻及麻交織物一四ヲ各増加セリ。

之レ主トシテ人造絹絲織物ノ有利ナル爲新ニ開業セルモノ多カリシニ因ル。之ヲ機室別ニスレバ、十臺未満ノモノ八百八十七(三割六分)十臺以上五十臺未満ノモノ千二百八十七(五割三分)五十臺以上ノモノ二百五十八(一割一分)ナリ。

機業職工數 昭和九年末ニ於ケル機業職工數ハ六萬一千五百四十一ニシテ、内綿織物千六百三十一(三分)絹及絹綿交織物五萬九千五百二十四(九割七分)麻及麻交織物三百八十六ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ、綿織物ニ於テ百十六ヲ減シタルモ絹及絹綿交織物一萬一千六百二十九、麻及麻交織物五十三ヲ何レモ増加セリ。

機業職工數 昭和九年末ニ於ケル機業職工數ハ四萬四百六十九人、内男八千六百八十八人(二割一分)女三萬一千七百八十九人(七割九分)ニシテ前年ニ比シ男二千七百七十三人女四千五百人ヲ増加セリ。

織物産額 昭和九年ニ於ケル織物生産額ハ、一億四千四十九萬八百七圓ニシテ本縣工産額ノ八割五分ニ當リ、前年ニ比シ二千八百五十一萬二千四百五十二圓ヲ増加セリ。

之レ主トシテ輸出入人造絹絲織物ノ増加シタルニ因ル。之ヲ品目別ニ觀レバ、廣幅物一億一千四百八十一萬六千六百七十九圓、小幅物二千三百五十萬七千八百三十三圓、特種物二百十六萬六千二百九十五圓ニシテ、尙種類別ニ觀レバ絹織物一億二千九百萬九千三百四十九圓(内約七割ハ人造絹絲織物)首位ヲ占メ(總額ノ九割二分)絹綿交織物七百三十七萬七百五十七圓、綿織物二百八十二萬一千三百九十二圓、麻及麻交織物百二十八萬九千三百九圓ノ順位トス。

又産額ヲ地方別ニ觀レバ吉田郡ノ二千七百五十七萬二千八百六十六圓(二割)ヲ最多トシ、福井市ノ二千六百四十九萬八千七百七圓(一割九分)ニシテ、大野郡ノ二千六百二十萬二千九百十二圓(一割九分)坂井郡ノ二千四百四十萬六千二百八十七圓(一割五分)今立郡ノ二千五百十五萬五千六百六十六圓(一割五分)ヲ主ナルモノトス。

染物 昭和九年末ニ於ケル染物工場ハ百九、職工數千七百三十人ニシテ、前年ニ比シ工場數ニ於テニヲ減シ、職工數ニ於テ百八十三ヲ増加セリ。之レ主トシテ人造絹絲織物ノ染色工業ノ勃興ニ因ル。

尙之ヲ種類別(染貨)ニ觀ルニ、無地物二百五十六萬二千三百三十圓(六割二分)捺染物百四十萬八千七百四十七圓(三割四分)其ノ他十七萬九千三百五十九圓ナリ。

而シテ染貨總額ハ四百十五萬二千三百三十六圓ニシテ、前年ニ比シ四十七萬六千二百七十六圓ヲ増加セリ。

製絲 昭和九年末ニ於ケル製絲場數ハ百七十七、繰絲釜數千五百六十八釜ニシテ、前年ニ比シ場數四十三、釜數二百五十六釜ヲ減少セルハ、主トシテ十釜未満ノ工場衰退ニ由ル。而シ

テ製絲總額ハ五萬一千七百二十八貫、價額百五十一萬六千二百七圓ニシテ、前年ニ比シ數量千三百八十三貫ヲ増加セルモ價額ハ繰價ノ低落ニ伴ヒ三十八萬五千四百一十一圓ノ減少ヲ見タリ。尙生絲ノ生産ハ四萬四千八百八十七貫、價額百四十五萬九千五百四十四圓ニシテ、前年ニ比シ數量千六百貫ヲ増加セルモ、價額ハ反ツテ三十八萬五千九百七十七圓ヲ減少セリ。

製絲場數及生絲ノ數量、價額ヲ各業態別ニ觀レバ次ノ如シ。

	場數	數量	價額
器 械 絲	16	40,367	1,352,387
座 繰 絲	157	3,801	106,275
玉 絲	4	19	392

漆器 昭和九年末ニ於ケル漆器製造場數ハ三百十六、職工數千三百二十八人ニシテ、前年ニ比シ場數八ヲ減シ、職工二十七人ヲ増加セリ。而シテ其ノ産額ハ百四十九萬六千五百三十七圓ニシテ、前年ニ比シ十一萬二千圓ヲ増加ナリ。

之ヲ地方別ニ觀レバ、今立郡ノ九十二萬五千二百圓ヲ最多トシ、遠敷郡ノ三十二萬一千五百三十六圓、福井市ノ十七萬百三十圓ニシテ、尙之ヲ種類別ニスレバ、飲食用器物八十五萬六百七十圓、家具及裝飾品四十六萬三千二百七十三圓、其ノ他十八萬二千五百九十四圓トス。而シテ其ノ大部分ハ堅牢ヲ以テ起テ河和田塗ト特種技能ヲ以テ著名ナル若狹塗トニシテ、何レモ其ノ聲價高シ。

酒類 昭和八酒造年度ニ於ケル酒釀場數百四十八、職工數千四百六十六人ニシテ、前年ニ比シ場數ニ於テ三ヲ減シ、職工數ニ於テ五人ヲ増加セリ。

酒造總價額ハ三百九十五萬六千二百七十五圓ニシテ、前年ニ比シ二十五萬千七百七十七圓ヲ増加セリ。而シテ近時其ノ製品ノ品位向上ノ爲、杜氏ノ技能養成ト酒造米ノ選擇トニ努メタル結果、先進地ヲ凌駕シ得ルノ優良酒ヲ吟醸スルニ至レリ。尙種類別ニ之ヲ示セバ次ノ如シ。

	數量	價 額
清 酒	53,571	8,872,810
白 酒	218	29,070
味 淋	274	49,905
燒 酎	26	4,490

紙類 昭和九年末ニ於ケル製紙場數ハ、器械漉十三、手漉六百八ニシテ、前年ニ比シ器械漉一、手漉二十九ノ減少ヲ見タルモ、之ガ職工數ニ於テハ器械漉ニ於テ二百三人ヲ、手漉ニ於テ九人ヲ共ニ増加セリ。製紙總價額ハ二百七十一萬九千二十三圓、内器械漉百八十二萬六千八百六十圓(六割七分)手漉八十九萬二千六百六十三圓ニシテ、之ヲ地方別ニ觀レバ今立郡ノ百三十四萬二千二百三十八圓(四割九分)ヲ最高トシ、南條郡ノ百三十萬四千三百四十九圓(四割八分)ニシテ、其ノ品種ハ證券紙、鳥ノ子、越前奉書、印刷料紙、透明紙、包裝用紙、襖張用紙等ニシテ其ノ名噴々タリ。

商業及會社

商事會社 昭和九年末ニ於ケル商事會社ハ五百五ニシテ、其ノ公稱資本金及出資額ハ、七千四百六十一萬七千九百三十六圓ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ會社數ニ於テ六十五ヲ、公稱資本

金及出資額ニ於テ四百二十九萬六千六百六十六圓ヲ増加セリ而シテ之ヲ組織別ニ觀レバ、合名會社七十二、出資額百二十九萬三千五百六十六圓、合名會社二百十九、出資額三百八十一萬六千二百二十圓、株式會社二百十四、公稱資本金六千九百五十萬八千五百五十圓ナリ。

更ニ之ヲ資本金別ニ分ツトキハ、五萬圓未滿ノモノ三百二十(資本金三百八十三萬七千八百八十六圓)五萬圓以上十萬圓未滿ノモノ六十三(資本金三百五十六萬二千五百圓)十萬圓以上五十萬圓未滿ノモノ八十八(資本金千五百六十六萬圓)五十萬圓以上百萬圓未滿ノモノ十三(資本金七百八十七萬六千六百五十圓)百萬圓以上五百萬圓未滿ノモノ十八(資本金二千七百九十七萬圓)五百萬圓以上ノモノ三(資本金千七百五十一萬五千圓)ニシテ、一會社平均資本金ハ合名會社一萬七千九百六十六圓、合資會社一萬七千四百二十六圓、株式會社三十二萬四千八百四圓ナリ。

尙之ヲ業態別ニ觀察スレバ、商業ニ屬スルモノ最多ニシテ二百三十二社ヲ算ヘ、其ノ資本金三千三百五十四萬、千三百八十圓ニシテ、積立金五百九十五萬四千三百五十四圓、配當金七十八萬七千六百一十一圓ナリ。

次ハ工業ニ屬スルモノニシテ、百九十五社、資本金二千九百八十一萬七千八百六十六圓、積立金二百三十四萬五千五百四十九圓、配當金百十七萬九千九百九十六圓ナリ。

普通銀行 昭和九年末ニ於ケル普通銀行ハ六行ニシテ、其ノ公稱資本金千九百三十一萬五千圓、拂込資本金九百九十二萬五千六百二十五圓ナリ。年末ニ於ケル積立金ハ四百八十二萬四千七百三十四圓ニシテ、前年末ニ比シ二十萬七千九百九十圓ヲ増加セリ。純益金ハ八十二萬六千四百七十六圓ニシテ、前年ニ比シ六萬八百五十七圓ヲ減少セリ。

次ニ株主配當金ハ五十六萬六千九百七十三圓ニシテ、前年ニ

比シ五萬二千二百九十一圓ヲ減シ、拂込資本金ニ對シ五分七厘ニ當ル。年内ニ於ケル現金、預金、貸付金ノ各勘定ノ取扱高ヲ觀ルニ、現金勘定ニ在リテハ入金二十億八百五十一萬八千五百十一圓ニシテ、前年ニ比シ一億二千六百六十五萬三千六百六十二圓ヲ増加シ、又出金二十億三千七百一十一萬七千六百八十三圓ニシテ、前年ニ比シ一億四千八百七十七萬八千八百八十三圓ヲ増加セリ。預金勘定ニ在リテハ總預り高三億九千二百八十六萬六千二百五十圓ニ達シ、年末現在高六千六百四萬六千二百六十九圓ニシテ、前年ニ比シ總預り高ニ於テ三千六百一萬八千六百八十九圓、年末現在高ニ於テ六百九十三萬八千三百十二圓ヲ各増加セリ。

之ヲ口座別ニ示セバ次ノ如シ。

	年内預り高 (千円)	年末預金高 (千円)
當座預金	217,153	6,964
特別當座預金	92,963	15,358
定期預金	71,006	42,235
公金預金	0	0
其ノ他	11,744	1,490

貸付金勘定ニ在リテハ總貸出三億一千五百五十一萬三千六百圓ニ達シ、年末現在高ハ三千七百四十二萬七千五圓ニシテ、前年ニ比シ貸出高ニ於テ一千五百七十一萬七千六百三十七圓ヲ増加セリ。

之ヲ口座別ニ示セバ次ノ如シ。

	年末貸出高 (千円)	年末現在高 (千円)
證書貸付	1,947	5,203
手形貸付	102,134	16,906
當座貸付	196,568	14,768
コールローン	10,861	550

